

情報交差点・心と心の交わり

あじまへ

大宜味中ソフトテニス部

女子 **団体戦 優勝** 男子 **団体戦 6位**女子 **優勝** 我部喜歩子・山川瀨奈ペア **準優勝** 我那覇ゆい・高良心ペア
男子 **準優勝** 宮城松・山川智瀨ペア女子個人
男子個人

大宜味村教育委員会

電話 44-3006

FAX 44-3020



第49回国頭地区中学校総合体育大会ソフトテニス競技

6月4日（土）～5日（日）、11日（土）に名護市宮庭球場で行われた第49回国頭地区中学校総合体育大会ソフトテニス競技が行われ、大宜味中が女子団体戦で優勝、女子個人戦では同校同士での決勝戦となり大接戦のすえ、2年生の我部喜歩子さん・山川瀨奈さんペアが優勝、我那覇ゆいさん・高良心さんペアが準優勝、男子団体戦6位、男子個人戦では宮城松くん、山川智瀨くんペアが準優勝し、見事男女とも団体戦、個人戦で県大会出場を決めました。

今大会に向けて、筋トレを頑張ってきたと話す部員たち。部活中はボールに触れる練習に力を入れ、筋トレは各々で軸足を安定させるための体幹トレーニングや太ももを強化させるスクワット、走り込みなどを行ってきました。

同校対決となった女子個人戦決勝。ともに戦った4名は「相手のことがわかるのでやりやすかった。勝ち負けよりとにかく楽しくプレイができた」とふり返りました。男子部員は久々の大会出場。個人戦で準優勝を決めた松くん、智瀨くんは「緊張はしなかった。このペアだから勝てた。決勝戦は相手が強くて負けたが、自分たちの課題が見つかったので県大会に向けいい試合ができた」と話しました。

県大会は7月16日（土）～18日（月）に県総合運動公園で行われます。県大会を前に女子キャプテンの心さんは「県優勝を目標に緊張感のある試合をしたい。一球一球大切にしたい」、男子キャプテンの松さんは「団体戦は1回でも負けたら終わり。少しも気を抜かずに頑張りたい。練習でやってきたことを発揮し、九州大会出場を目指したい」と意気込みました。

一試合、一試合を大切にし、大宜味中らしいプレイを見せてください。頑張れソフトテニス部！

自分の身は自分で守る 大宜味小・中学校で不審者避難訓練

6月2日（木）、大宜味小学校・中学校において不審者侵入時避難訓練が行われました。

今回は4年生の教室に不審者が侵入、先生の指示で4年生がまず避難。必死に避難する4年生の姿を見た5、6年生の児童も続き、放送を聞いた他の児童生徒たちも避難場所の体育館へ向かいました。

避難を終えた児童生徒たちに名護署の天願さんは「自分で自分の身を守ることが大事。今回のような不審者、災害、火事などが起こった時は先生の指示に従って素早く行動してほしい。それが身を守ることに繋がる。『いかのおすし』も忘れないでほしい」と教えてくれました。

訓練を終え、6年生の湧川陽菜さんは「冷静に対応することがわかった。小学生も中学生も『いかのおすし』を守ることが大事とわかった。もし本当にこのようなことが起こったら、今日のことを思い出して行動したい」と話し、5年生の大湾光さんは「体は急ぐけど心は急がず冷静にすることがわかった。自分で自分を守ることが一番大事、いつになっても安全に行動できるようにしたい」と約束しました。

災害や犯罪はいつ起こるかわかりません。「自分で自分を守る」を日頃から心掛けて過ごしてください。



指示に従い避難する4年生



先生たち不審者をなだめます

子どもたちの学校での元気な姿を確認！ 大宜味小・中学校 日曜授業参観

6月12日（日）、大宜味小・中学校において日曜授業参観が行われました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、小学校の親子ふれあい体験、午後からの親睦バレーボールは延期となりましたが、子どもたちの頑張っている姿を見ようとたくさんの保護者が参観にきてくれました。



2年生：生活

クロムブックを使いこなす



4年生：算数

元気はつつ4年生



5年生：図工

一人一人の個性が光ります



きらめき：休み時間

工具を使って机の高さを自分で調整



賑やかな休み時間

テンションアップ



6年生：道徳

それぞれの考えを出し合おう

地域の方にインタビュー、村をより深く知る… 大中2年生総合学習村内探求

6月14日（火）、大宜味中学校2年生が総合の学習で村内探求を行いました。

2年生は大宜味村の「歴史・文化」、「自然」、「産業」の3つの班に分かれ、地域の人たちにインタビューをし、大宜味村について学びました。

「歴史・文化」班は村役場、村史編纂室、塩屋公民館などを回り、塩屋大橋や、塩屋のウングミについて、「自然」班は喜如嘉の七滝、辺土名高校、塩屋漁港をめぐる、やんばるに生息する生きものや生物多様性、漁業など山から海までの大宜味村の自然について、「産業」班は旧道の駅、シークワサーパーク、ケレス沖縄、やんばるの森ビジターセンター、江洲の花を回り、大宜味の特産物や観光について話しを聞くことができました。

村内探求後、各班で学んだことをスライドにまとめました。歴史・文化について学んだ宮城松さんは「インタビューをしてネットとかを見ているだけではわからないようなことを知ることができ、塩屋のウングミについて知識を深められたのでおもしろかった」とふり返りました。

今回まとめたスライドは7月19日（火）に津堅島にある津堅中学校の生徒とそれぞれの村について発表するリモートの交流学习をする予定です。交流学习に向け大石明翔さんは「大宜味村は素晴らし Beautiful な村なのでいいスライドを作り、大宜味の良さを大いに伝えたいです」と意気込みました。



お父さん、お母さんの登場にソワソワし始める小学生たち。ちらちらと教室の外を気にしながらも先生の話をしっかり聞き元気に発言、意欲的な姿が見られました。

中学生はいつもの授業と変わらず落ち着いた様子。クイズを盛り込んだ英語や元素記号のカルタ対決の理科など楽しみながら学ぶことができました。

4校時には沖縄県警の宮城栄一郎さんを招き「サイバー犯罪防止教室」が開かれ、加害者にも被害者にもなるSNSでのトラブルやスマホ依存症、子どもにスマホを持たせる時の家庭でのルール作りのポイントなどを教えてくれました。



1年生：社会



2年生：英語



3年生：理科

講演を終え、生徒代表の我那覇藍貴くんは「インターネット犯罪が一番多いことを知った。自分たちもクロムブックを使っている。一人一人が使い方について気を付けていく。もし、トラブルに巻き込まれた時は大人に相談する。みんなで正しい使い方を守っていきたい」と約束しました。スマホを人を傷つける凶器にするのか、人とつながり生活に役立つ道具にするのか考えさせられる教室となりました。



サイバー犯罪防止教室



宮城栄一郎さん

★喜如嘉区でミニ展示会★

喜如嘉公民館で『シマの温故知新展—おじー・おばーにきいて学ぶ 自然・人・くらし・文化』(6/21～27)と題した手作りの展示会が行われました！
古いスナップ写真や行事の写真、喜如嘉や村にまつわるイラストや本・冊子等が展示され、分かりやすく説明がついていたり、集合写真の横には虫眼鏡が用意されていたりと見る人が喜ぶアイデアいっぱいの展示でした♪

村史編さんだより

第135号 2022年7月1日 大宜味村村史編纂係44-3009

～寄贈写真紹介～



★根路銘区の宮城さんと喜如嘉区より、一昔前の様子が分かる貴重な写真の提供がありました。

▲海沿いに家が3軒ほどあったが台風で流された（1952年頃）▲根路銘海岸。手前の瓦屋根は売店（1952年頃）



▲喜如嘉まつりのエイサー



▲喜如嘉尋常高等小学校 卒業写真



▲喜如嘉幼稚園 南部観光（1962年3月）



▲行事の写真（昭和30年代）



▲米寿祝記念写真（1950年）



▲喜如嘉にてイノシシの捕獲

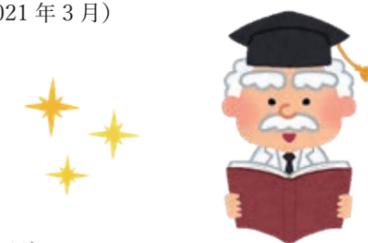
※アルバムなどは台紙から判がはずれにそのままお貸しください（無理に判がはずすと写真が破れる恐れがあるため）



▲根路銘、サンチヂフェークブにあった採石工場（1960年9月27日撮影）

～新たに加わった図書資料～

- ・村内遺跡詳細分布調査報告書—根謝銘城跡保存目的調査および開発に伴う試掘調査報告書—（大宜味村教育委員会/2022年3月）
- ・重要無形文化財「塩屋湾のウングミ」祭祀施設・用具修理報告書（大宜味村教育委員会/2022年3月）
- ・与那原町史 図説編 与那原 自然と人（与那原町教育委員会/2022年3月）
- ・県内市町村史に掲載された 中国での戦争体験記を読む～沖縄出身兵170人の証言～（沖本裕司/2021年11月）
- ・設立20周年記念事業 沖縄語新聞18年の軌跡（NPO 沖縄県沖縄語普及協議会/2020年12月）
- ・名護市史叢書19 語りつぐ戦争 第4集—市民の戦時・戦後体験記録—（名護市教育委員会/2021年3月）
- ・復帰50周年企画展第2弾 軍用地政策の変遷（沖縄県公文書館/2022年2月）
- ・沖縄県における戦災の状況（総務省大臣官房総務課管理室/2022年3月）
- ・みんなの文化財図鑑 天然記念物編（沖縄県教育委員会/2022年3月）
- ・写真集 南風原（南風原町/2016年3月）
- ・琉球文学大系1 おもろさうし 上（ゆまに書房/2022年3月30日）
- ・武富町史だより第50号（竹富町教育委員会/2022年5月15日）
- ・渡波屋から世界へ—眉屋私記文学碑建立記念誌—（眉屋私記文学碑建立期成会/2021年12月22日）



—図書室で閲覧できます—

村史編さんだより



▲祖母のトゥシビー祝い（昭和13～14年頃）



▲根路銘一大宜味間のイチブル。干潮のとき（1950年頃）



▲1952年頃の塩屋湾

※まだまだ写真募集をしております♪お声かけ下さい♪

村史編さんだより

「しまふとうば」ぬくとう 78



うみがーみー

20年程前に読んだある本に大きな衝撃を受けた。「記憶する心臓・ある心臓移植患者の手記」(クレア・シルビア&ウィリアム・ノバック著、飛田野裕子訳)だ。

心臓移植を受けた患者が術後に元の自分だけではない別の人格が存在するというのである。あまりにも不思議な体験のため、同じように心臓移植を受けた人々が集まって移植後の状況を聞くと、やはり同じような体験をしていることが記されている。

結論から言うと心臓を提供した人は様々な理由で亡くなっているのだが、心臓は移植した人の中で生きていくだけでなく、亡くなる前の人格がその心臓に宿っていてその人格が表現されるというのである。今まで嫌いだった食べ物が大好きになったり、好きでなかったビールを欲しがるようになったり・・・。若い男性から心臓の提供を受けた女性は性格的にも男性的になり、歩き方が変わったり若い男性が興味を示す事柄に惹かれて行ったりと、自分の中に二人の人格があるというのである。

臓器移植後に性格や好み等が変わるのは心臓だけではないようだ。肝臓を移植した人の経験では、その人は酒が飲めない体質だったのが、肝臓の移植により酒が好きになった、等々多くの経験談が語られたりしているようだが、科学的な根拠は必ずしも確認されているわけでもなく、逆に事実ではないという根拠もないようである。

東洋医学では人の精神的な力は臓器に宿るとするのが通例らしく、例えば怒りは肝臓、憂いは腎臓、喜びは心臓、悲しみは肺、等々そして脳には感情はなくこれらの臓器を統括しているだけらしい。

時々「こころ」はどこにあるのかという議論があったりするが、脳なのか心臓なのかそれとも他の臓器なのか？心臓は「心(こころ)の臓」と書くので心臓？・・・科学の進歩は著しいが人の精神的な部分の解明は難解らしい。

～～ 肝心(きむぐくる)でいい(言)しが じゃーねー(どこに)あいがやー(あるのか) 肝臓？心臓？ たーち(二か所)あらに(ではないか)～～

2022年 ウミガメ情報

NO	海岸名	上陸・産卵日	脱出予想日数	脱出予想月日	種類
1	塩屋	5月5日	60日±3	7月4日±3	アカ
2	喜如嘉	5月20日	58日±3	7月17日±3	〃
3	根路銘	5月28日	56日±3	7月21日±3	〃
4	喜如嘉	6月5日	55日±3	7月30日±3	〃
5	喜如嘉	6月19日	55日±3	8月13日±3	〃



産卵箇所には↑のような目印があります。無事子ガメたちがふ化できるよう見守ってください。

7月の行事予定

- | | |
|------------------------------|---------------------------|
| 1日(金) 区長会 | 18日(月) 海の日 |
| 2日(土)(中) 九州つどい 地区選考ソフトテニス | 20日(水) 1学期終業式(小・中・こ幼児部) |
| 3日(日) 村ボウリング大会 | 21日(木) 県高校総体 ～ 26日 |
| 4日(月)(小) 夢を語る講演会 | 23日(土)(中) 九州つどい 県選考ソフトテニス |
| 7日(木)(小) 薬物乱用防止教室 | 28日(木) 定例教育委員会議 |
| 地域教育懇談会 | 29日(金) 「体験の翼」西会津町交流団受入 |
| 9日(土) わんぱく体験団② | 30日(土) 村ゴルフ大会 |
| 16日(土) 生涯学習講座 | 31日(日) 「体験の翼」西会津町交流団お別れ式 |
| 17日(日) 村球技大会(バレー・バスケ・ソフトテニス) | 本土復帰50周年記念事業(お笑い米軍基地上映) |



かき氷の日